

ことぶき共同診療所だより

第 29 号

2010 年 6 月 10 日発行

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 1・2F
電話とファックス 045-651-2305(診療所) 045-305-4322(鍼灸院・資料室)

E-Mail info@kyoudouclinic.com

<http://kyoudouclinic.com>

発行：医療法人ことぶき共同診療所

目 次

15 年目に入って	鈴木 伸 ②
公園愛護会を引き受けました	田中 藤枝 ④
デイケア 10 周年誌刊行♪	高田 あずさ ⑥
ウクレレ部活動中!	佐藤 木綿子 ⑦
“診療室から”(25) - ダニと疥癬 ^{かいせん} -	宮崎 伸一 ⑧
追悼 林田 明さん	大平 正巳・川崎 正明 ⑨
『寿町ドヤ街』第 6 号「寿町の歴史・運動・思い出」刊行 寿町地域ニュース・あらかると(2009 年 11 月～10 年 4 月)	松本 一郎 ⑪
退職の弁	石倉 綾子 ⑬
復職の弁	鳥潟 恭子・松本 愛 ⑬
職員自己紹介	栄藤 典子 ⑭
診療所日誌(2009 年 11 月～10 年 5 月)	矢島 雅子 ⑮
共同診療所・鍼灸院ガイド	⑮

15年目に入って

【はじめに】

ことぶき共同診療所は、4月で15年目に突入いたしました。日々の診察に追われ、つぎつぎに起こる難題に頭を抱える毎日ですが、気がつけば「もうそんなんにたってしまったのですか？」という感じです。(私自身が関わりだしてからは7年目ですが。)大きな展望や野望はありませんが、周囲の皆さまと、ともに汗をかき、ともに泣き、ときに笑えれば、という心づもりでやっていきたいと思っておりますので、御指導、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。というわけで、ここ半年を振り返ってみました。

【田中Drは金曜日午前中の診察です】

当院の名物院長、田中Drは、金曜日1日の診察となりました。日数こそ2日から1日へ減っていますが、診察の中身は、むしろ濃厚となっており、話題も野球や相撲、出身地などをめぐり展開し、着地点は予想できません。隣できいていると、「これは診察なのか？ 雑談なのか？」分らないほどです。しかし、患者さんはみな楽しそうで、堅苦しい雰囲気はありません。

せん。精神科のカリスマ、神田橋先生も最近では自分の治療は「雑談療法」であるとおっしゃっておりますし、精神科も名人の域に達すると、あまりにも自然で、はたからみたら「雑談」にしか見えなくなるのかもしれませんが。田中Drもまだまだ現役でがんばる次第ですのでよろしくお願い申し上げます。

【少子化にたちむかう診療所

またまた産休のおしらせです】

世は少子化の波が押しよせ、政府の対策もむなしく歯止めがかからない状況ですが、当診療所に限ってみればまさに出産ラッシュであり、今回は心理士の石倉綾子さんが昨年12月より産休に入り(その後、無事出産されました)、代わりに栄藤典子さんが心理士として働いて頂いております。栄藤さんは、もともと音楽療法をされていたため、音楽療法に造詣が深いのですが、現在は主として一般の心理検査をお願いしております。今後、得意の音楽療法もやっていただける機会があるとよいなあと思いますので、よろしくお願い致します。

【恒例の忘年会がありました】

12 月 18 日、当診療所恒例の忘年会が盛大に開催されました。「盛大」といっても、料理ではなく(すみません)顔ぶれのことでありまして、普段お世話になり、ともに寿町の患者さんを支えているヘルパーさんや、訪問看護ステーションの看護師さん、病院、診療所、役所の方々が、大勢押し寄せ、意見や情報を交換できました。日頃は忙しくて、書類で名前はしっているけど、顔が一致しないということはよくありますが、やはり、顔や人柄がわかるとお互いに仕事がしやすくなると思います。ともに気持ちよく、円滑に仕事がすすめられるそういった機会になればよいなあと思います。

【デイケア 10 周年誌 ようやく完成！】

3 月 24 日、懸案のデイケア10周年誌が完成いたしました。記念式に遅れること約 9 カ月。デイケア同様、紆余曲折、艱難辛苦がありましたが、ようやく陽の目をみることになりました。ご希望の皆さまには、無料でお送りしておりますので、興味のある方はご一報ください。

【救世主あらわる**エコー技師さん登場！】**

当院は、薬物使用歴のある方が多く、そのためにC, B型肝炎の方が通常の診療所よりかなり多くなっています。肝臓などの早期発見のために定期的なエコー

検査は必須なのですが、医師不足で月 14 人の枠しかないため、最大 2、3カ月待ちという状態が続いており、悩みの種となっていました。あちこちのツテをたよって探していたところ、私のもう一つの勤務先である神奈川病院の検査技師佐藤克栄さんと長崎美佳子さんが月 1 日休日を返上して 5 月より手伝ってくださることになりほっとしております。貴重な休日を提供いただき大変感謝しております。この場を通じてお礼申し上げます。

(鈴木 伸)

公園愛護会を引き受けました

診療所のすぐそばにある吉浜町公園の愛護会を昨年からひきうけています。中区に 60 以上ある街の中にある公園は地元の町内会や個人の有志に掃除などの管理がゆだねられています。愛護会の制度がいつの頃からできたのかよくわかりませんが、今まで埋地七ヶ町が引き受けていましたが、実際に掃除や草花や植えてある木々の手入れに定期的に関わり続けて来たところが引き受けてくれたほうがよいとの中土木事務所の意見もあって、町内会からも話がしあってなんとか引き受けることになったのです。

吉浜町公園は石川町駅北口から寿町に歩いてきてローソンの交差点に行く手前の中間の左側に水色の門が開いています。もうひとつ亀の橋へ行く道路の左側に門のついた入り口があります。道路側はすべてお店や住宅の入ったビルに囲まれているので中福祉のワーカーさんなどには意外と知られていないようです。門は朝 9 時に開けられ、夕方 5 時には閉められます。夜間開放しないのは防犯上、地域がらのことと思われれます。同じ寿の隣接している扇町公園は夜間閉めるなどということはしていません。隣接して住宅があるというような環境にはないからだと思われれます。

この公園はかなり広いグラウンドとすべ

り台などの遊具のある草地の部分とがあって早春に咲くこぶしの木をはじめとしてもくれん、かいどう、はなすおう、さるすべり、きんもくせいなどの花木が植えられていてこんなコンクリートばかりの街に季節のうつりかわり、自然が感じられる、ほっとできる不思議な場所になっています。最近、ある人が航空写真を見たら吉浜町公園が「緑地」になっていて、感動したということをはなしていました。南側は高速道路が上のほうに走っていて気がつけば車の音も絶えずしているようなところなのに、最近、小鳥が増え、さえずりの声がよく聞こえるようになりました。

この公園に診療所のデイケアのメンバーさんたちと手を入れ始めたのは 12 年前です。デイで園芸が出来る所はないものかとさがして、ビルの屋上などでどこかないものかと考えたりもしましたが、すぐそばに花壇もなく草がひざまで茂っているこの公園がみつかったのです。地域医療をめざして開設した診療所ですから、地域にある公園に人手を出したり、お花の苗や種にお金をかけることは仕事のひとつでもあり、さっそく鍬やシャベル、鎌、軍手など必要な物品を購入して、草取りから始めました。ところが種を蒔くために耕してみてもびっくり、ここは空襲のときの物なのか、それとも周りのビルの建て替

えの時の物なのか、がれきの堆積の上に10センチ位の土がのせてあるだけで、普通の土地ではなかったのです。つるはしなどで掘って、がれきや石を取りのぞくと土が半減してしまうのです。園芸店で土を買ってきてどれほどの土を入れたかわかりません。奥のほうからすこしずつ耕して、花壇に変えてきました。ある時ベンチの後ろに積み重なっていた弁当箱などのごみをデイのメンバー総出でかたずけたことがありました。ごみ袋20袋以上になったと思いますが、それからはごみがやたらにはちからなくなりました。定期的な掃除、ごみ捨てもずっと続けています。中土木事務所からのイベントで丸太で囲んだ花壇を作ったり落ち葉ハウスという堆肥場を作ったり、園内の木に名前をつけることもしました。草刈機の講習会もやってもらいました。池も皆で作り、めだかが泳いでいます。今は公園のほぼ全域に手が入って、季節に合わせて種まきや花苗の植え替えをしていますので1年ちゅう花の絶えない公園になっています。実際にてがけているところが愛護会をやってほしいと中土木事務所に言われたので、そうするしかないかという感じで引

き受けたわけですが、どこまで責任をもっていけるのかについては不安もあります。こういう仕事は本当に好きな人が何人かいないとやり続けることはそうそう出来るものではないと思うのです。

多種多様なさまざまな木や草、花が植えられていて、昔なつかしい里山のような感じに、ほとんどが田舎出身の寿の人たちが熱心に見てまわって、草花の名前を言ってうれしそうにしているのによく出会います。そういうときにはわたしたちもうれしくなります。今後もいつも、花にあふれ緑がいっぱいの心安まる場所として維持できたらいいなと思うのです。

また、これまでも各方面の応援、協力、色々なかたの力をお借りしてやってこられたと思います。これからも多くの方々の応援が本当に必要だと思います。どうぞよろしくお願いいたします。まずはまだ公園を知らない方は通りがかりに立ち寄ってみてください。コンクリートばかりの街の中にちょっとした異空間があり心なごむことが出来ると思います。

(田中 藤枝)

デイケア 10 周年誌刊行♪

2010 年 3 月にデイケア 10 周年誌を刊行することができました。原稿を書いてくださった方々、本当にありがとうございました。おかげさまで写真やイラストもたっぷり、100 ページに及ぶものができました。メンバーさんにもアンケートに答えていただいたり、写真を載せさせていただいたり、ご協力いただきました。表紙も森林公園でのお花見のときのイラストをメンバーさんに描いていただいて素敵な仕上がりになって嬉しい限りです。

10 年の歴史を振り返るに当たり、これまでの記録をひっくり返して年表を作成したり、歩みをたどったりと製作過程はな

かなか大変ながらも感慨深いものがありました。一つのことが 10 年続いていくということは簡単ではなく、このデイケアも、メンバーさんと、これまで関わってくださったたくさんの方々によって築きあげられたものなんだなぁとあらためて感じました。

読んでいただいた方にはぜひ感想を聞かせていただきたいと思います。

今後ともことぶき共同診療所のデイケアをどうぞよろしくお願いいたします。

(高田 あずさ)

ウクレレ部活動中！



最近のことぶき共同
診療所のお昼休みは
ポロンポロンとウクレレ
の音色に満たされてい

ます。部員はただいま十名。部長である
土屋先生を筆頭に、日々楽しくウクレレ
を弾いております。

ウクレレ部結成のきっかけは去年のデ
イケアクリスマス会に違いありません。クリ
スマス会といえば、美味しいチキンにクリ
スマスケーキ、デイケアメンバーさんたち
はキャンドルをともしてそれぞれの一年を
振り返る、など様々なイベントがあるのだ
ですが、楽器ができるスタッフは演奏でクリ
スマス会を盛り上げます。毎年恒例の鈴木
先生、いえいえ、葉加瀬次郎さんのバイ
オリン演奏、オカリナ部の演奏の他に、
前回は土屋先生と看護師のキミちゃんが
二人でウクレレを弾いていたのです。
確か曲目は「北風小僧の寒太郎」と「き
よしこの夜」。クリスマス会のために二人
はお昼休みずっと練習をしていました。

それを聞いていた部員たち、ある日突
然、久保木さんが「買っちゃった」とウクレ
レを持ってきて、鍼灸師の新井さんも「実
は私もウクレレ持ってる」とお昼休み演奏
に参加してからは、勢いはとまりません。
一人買い、また一人購入し、といつの間
にか総勢十名のウクレレ部が結成された
のでした。

現在は、お昼休みに休憩室でご飯を

食べた部員から練習しております。レパ
ートリーも増え、七、八曲といったところで
しょうか（「少年時代」、「涙そうそう」、「大
きな古時計」など）。5 月 28 日には歓送
迎会で初お披露目、6 月 25 日には篠笛
の先生と一緒にデイケアでミニコンサートを
開催する予定です。どきどき。

部員のみなさんから一言

「ひきつづき、部員募集中。楽器のない
人も応相談。ウクレレ、かんたんです
よ。」（土屋部長）

「おとしの冬からウクレレがやりたかった
んです。しかもみんなでやれてうれしいで
す。」（久保木）

「みんなでにぎやかに練習しています。
楽しい！！休憩中のみなさん、うるさくて
ごめんなさい。」（中田）

「ウクレレで気分転換。楽しんでます。
昼食後の眠気もスッキリ！？」（河野）

「練習不足で（実力？）へたくそでごめん
なさい。ガンバリマス！！」（石塚）

「みんなで練習して毎日ストレス解消して
います。ウクレレ最高！！」（石井）

「ウクレレとひよんなことから出会い、今は
すっかりはまってます！」（水島）

「弦楽器は苦手ですが、なんとかやって
ます。」（源川）

「楽器はいいですね～。みんなと演奏す
るのは楽しいですね～。」（新井）

「一人で弾くのも楽しいけれど、みんなで
弾くと 100 倍楽しいです。」（佐藤）

（佐藤 木綿子）

“診療室から”(25)

ダニと疥癬^{かいせん}

最近、Aさんという患者さんがダニに刺されて体の何箇所かが痒いと受診してきました。しかし、ダニはそもそも肉眼では見えないので、どうしてダニだとわかったのかと聞いてみると、実は1ヶ月ほど前に、ダニを持っている人を部屋に入れてしまったからだそうです。その人はダニを持っていることが皆に知られているので、誰も部屋に入れてくれませんでした。その人がAさんの部屋を訪ねてきた時、かわいそうに思ったので断り切れずに部屋に入れてしまっただけで雑魚寝をした後に感染をした、ということです。もう一人、Bさんは、数カ月間かゆみが続き、自己判断でステロイドの軟膏を塗っていましたが、良くなるどころか悪化するばかりで、夜になると必ず痒みが強くなって眠れない日々が続いていたそうです。皮膚科を受診して疥癬だとわかり、治療を受けてようやく痒みがおさまりました。

さて、AさんとBさんの皮膚病の原因のダニはヒゼンダニです。ヒゼンダニは人を刺すのではなく、人の皮膚に寄生した虫体やその糞に対するアレルギー反応として痒みなどがでてきます。たたみやじゅうたんでは繁殖しません。ヒゼンダニが原因の皮膚病を疥癬といい、症状としては、数週間の潜伏期の後、夜間に強いかゆみが生じ、指の間、肘、アキレス腱部や外陰部に皮疹が出ます。感染力が比較的強く、人と接触することで感染します。昼での雑魚寝やまれに寝具、衣類などから感染することもあります。通常、通常の社会生活で、数時間並んで座った程度では感染しません。疥癬の程度がひどいものをノルウェー疥癬といいます。別にノルウェー国とは関係がありません。注意しなくてはならないことは、ステロイド剤は無効どころか症状を悪化させることです。Bさんはそのため、何カ月も眠れない夜を過ごしました。従って、自己判断、自己治療は禁物です。必ず病院を受診しましょう。

(医師 宮崎伸一)

追悼 林田 明さん

林田さんについて

林田さんとはじめて会ったのは、まだ診療所が2階にあったころでした。受付で「(順番を)早くしてください!」といらいらしながらカウンターを何度も蹴飛ばし職員に制止されていたことなど、あの頃の林田さんはいつもイライラし、びくびくしていた印象ばかりが記憶に残っています。はまかぜに入所中で安定しない、しかも複数部屋での生活でストレスも多かったのだと思います。

そんな彼がはまかぜを退所し、ドヤ生活を送りながら診療所デイケアに通所することが決まりました。なかなか人馴れ出来なく、デイ内に居ることが出来ない彼に好きな絵描きを提案したり、息抜きの方法を共に考えたり試行錯誤を繰り返しました。知的障がいのある軽度の自閉症であった彼はその障がい以上に、数多くの虐待経験からくる人間不信、いつも臨界状態の怒りから社会生活に不自由を抱えていました。先ず、こころを解し人馴れさせることが課題となりました。

幾度かの問題行動を経て彼はデイケアという場に定着して行きました。しかし、安定と共に彼が本来持っていた自閉的障がいと向かい合う必要が出てきました。

大きく「こだわり行動」の問題です。自分の好きなことだけをして暮らしたい。TVドラマ「相棒」を観てキャンデイズの唄を聴き、カラオケで唄を歌う(カラオケはデイで行った時だけですが)生活は本当に楽しかったのか。ただ援助する側も社会生活を阻害するこだわり行動にしっかり対処する体制も無い中で生活は荒れていってしまったようです。最後の1年については私自身がNPOに出向していたため実態はわかりません。

彼との別れは突然でした。1月19日の朝、自分の住んでいたドヤの6階から墜落死してしまったのです。その日、私はNPOの仕事で朝、彼の家の横を車を通った時に警察が現場検証をしているのを観て嫌な予感がしたため診療所スタッフに確認してもらったところ死亡が確認されたのです。残念な形ですが林田さんとは最初の出会ってから死ぬまでのお付き合いになりました。まだ20代であのような悲惨な死に方は本当に残念でなりません。職務の中でデイケアの方々の死に出会うことはあまり珍しいことではありません。なかなか充実した人生を送っている人が少ない地域性もあり、いつも残念な気持ちが心に残って来ましたが、林田さんの死は未だに自分のなかで上手く処理で

きない出来事です。

仕方が無いのでしょうか。

お・わ・り。

(大平 正巳)



ありがとう、林田くん

五月のカレンダーをめくったら、林田くんの絵があった。貝の絵だった。今年も、潮干狩りでデイケアのみんなは、野島公園に行った。もう1年たった。

林田くん、君が逝ってから、半年になる。まだ、私は、その事実を受け止めきれないでいる。

一月、年末年始の休みのあと、林田くんが姿を見せていないからというので、部屋に行った。君は、呆然としていた。身の回りのことを何もできていなかったのだ。体を拭いてあげたりしたけれど、それだけで終えてしまった。次の週も、やはり状況は変わらなかった。体を拭き、下着を替えたけれど、それ以上ではなかった。

こんなこと、私が診療所で仕事を始めてから数年、林田くんにはなかったことだ

った。気がつけばよかったのだ。

そして次の週、君は亡くなった。

葬儀屋さんで、君を送ったとき、Tさんは、少年の顔だったね、といった。少年、ずっと少年だったかもしれない。図体は大きく、ひげも濃くなってきたけれど、自分にいつも注目が集まっていることを願ってしょうがなかった。

でも好きだったよ。うるさかったときも多かったけれど、林田くん、きみが好きだった。

きみが亡くなってから、お母さんと、おばさんが見えられた。会いたくてたまらなかったお母さん。きみの笑顔の写真をいっぱい渡した。デイケアで一番写真が多かった。

さて林田くん、これからどうするかね。ブルートレインの多くは、急行「能登」をはじめ廃止になったし、「相棒」も再放送だけだ。バス路線を教えてくれる人がいなくなり、電車のコースを聞ける人もいなくなった。髪を刈って、姿のいい頭を見ることもできなくなった。

でも、私は頑張って生きていこう。ありがとう、林田くん。

2010年5月24日 (川崎 正明)

『寿町ドヤ街』第 6 号「寿町の歴史・運動・思い出」刊行

寿町関係資料室では、昨年 12 月に冊子『寿町ドヤ街』第 6 号目となる「寿町の歴史・運動・思い出」を刊行しました。

今回は、大きくは、歴史的側面から企画しました。

第 I 部では、「寿町の歴史と運動の展開」について、これまで田中俊夫さんが執筆された論文、講演、詩が掲載されています。現在の寿町がいかなる背景のもと、横浜という大都市の中でどのような変遷を辿ってきたのか、また、どのような運動が行われたのかを知ることができます。中には、今回初めて明らかになった史実もあります。

第 II 部では、寿町と関わりのあった方、現在進行形で関わっている方に、この街での思い出や今の考えることを執筆していただきました。どのような経

緯や思いで働き、活動されてきたのかを知ることができます。

表紙には、大塚洋介さんの写真集『羅漢たち』から、夏祭りの写真を転載させていただきました。1970 年代後半から 1980 年代初頭のころの寿町です。大塚さんには、本冊子第 2 号に続き、写真の転載を許していただき、厚くお礼申し上げます。

なお、本冊子は、診療所で無料で配布しています。ぜひご一読いただければと思います。

また、今後の企画に活かしていきたいと思いますので、ぜひご感想を寄せていただければ幸いです。

(松本 一郎)

寿町ドヤ街第6号 目次

はじめに(松本一郎)

第Ⅰ部 寿町の歴史と運動の展開(田中俊夫)

1. 寿町の歴史

寿町ドヤ街形成の歴史的背景(付:寿町詩集1)

ことぶき地区の歴史(ことぶき共同診療所学習会資料)

2007年6月14日(付:寿町詩集2)

2. 概略寿町運動史(ことぶき共同診療所学習会資料)

2007年3月22日

3. 寿斗争前史(付:寿町詩集3、4)

4. 寿よもやま話

第Ⅱ部 寿町の想い出

「ことぶき」との出会い・「AA」との出会い・「ひと」との出会い(村田由夫)

寿町について思うこと(谷川弘)

寿町との関わり(小柳勝義)

寿町と私(三浦保之)

私は寿町から生活保護・福祉の仕事をはじめた(山岸重美)

寿町今昔雑感(石井英夫)

私と寿(杉本貴美子)

ことぶき学童保育にかかわって(山埜井聖一)

寿との関わりと診療について(三橋徹)

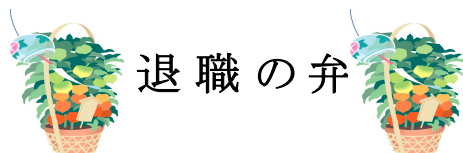
今思うこと(松本一郎)

おわりに(田中俊夫)

寿町地域ニュース・あらかると (’09年11月～’10年4月)

【失業者支援】中区ハローワーク横浜で失業者向け職業紹介・生活相談等のワンストップサービス試行(11.30)／沢渡中央公園で反貧困ネットワーク神奈川主催「ワンストップかながわ相談会」開催(12.27)／西区ハローワークプラザよこはまで年末緊急職業相談開催(12.29-30)【越冬支援】山下町で寿越冬支援のチャリティライブ開催(12.22)【炊出し】芸能プロダクションがセンター前でちゃんこ鍋の炊出し開催(1.31)【野宿者調査】県は1月に調査を実施し県内の野宿者数を1,814人と公表。多い市は順に横浜710人、川崎666人、平塚110人、厚木75人、藤沢55人(3.26)【公園】寿児童公園工事1期分が完成しオープニングセレモニー開催(4.9)【簡易宿泊所】大和荘新館改装中(以下5月現在)／松葉館改装中／(仮称)扇荘別館建築中／箱根荘改装中(寿町関係資料室・松本一郎)

注:文中の「改装」とは、従前の簡易宿泊所を完全に取り壊して新しく建築された場合で、「改築」とは従前の簡易宿泊所を取り壊さずに外装や内装をリフォームしている場合を指します。



退職の弁

今年も 5 月の新緑の季節になりました。昨年の中頃は、デイケアのメンバーさんと潮干狩りに行ったり稲子の田植えに参加したりして、楽しく過ごしたのを思い出します。あれからもう 1 年とは早いんですね。そして、1 年前にはこの世に存在していなかった新しい家族が今、目の前に…。なんとも不思議です。

診療所では臨床心理士として心理検査の仕事とデイケアのスタッフを 1 年 9 カ月やらせていただきました。心理検査は時間がかかるので患者さんにはけっこうな負担をかけてしまうのですが、雑談を交えているうちに「しかたねえなあ」と笑顔で協力してくれる方が多くてありがたかったです。しかし医師の先生がたに有益な結果を返していたかという、まだまだ勉強不足だったと反省しております。途中からですがデイケアのスタッフになってからはさらに診療所

で働く面白さを感じることができました。寿町の暗いイメージ(すみません)とは違って、気ままに生きるおじさんおばさんたちの笑顔にときに不覚にも癒されてしまう瞬間が、寿で働く醍醐味でしょうか。いろいろな経験をさせていただきました。

短い期間でしたが、妊娠がわかってからもいろいろとご配慮いただいた、微力ながらも妊娠 8 カ月まで働くことができました。診療所の皆様にはお世話になりました。本当にありがとうございました。おかげさまで無事元気な女の子を出産することができました！今後しばらくは育児に専念する毎日になりそうですが、楽しみながらやっていきたいと思っています。

皆様のご健康とさらなるご活躍をお祈りしております。
(石倉 綾子)



復職の弁

こどもが生まれ、一年半お休みをいただきました。ただいま戻りました。

診療所へいっても仕事になるのだろうか、ちょっと緊張して復帰の日を迎えました。予想通り、すっかり専業主婦ぼけしてしまいました。忍耐強い同僚に支えられ教えられ、覚えの悪い「新人」は、患者さん、関係者の皆さん、診療所のスタッフに迷惑をかけ、反省の毎日です。早く慣れるよう頑張ります。

久しぶり患者さんに会っても、もう分から

ないかもしれないと思いましたが、名前は忘れても顔は覚えていました。しかも私が休みに入る前、どこかへ行ってしまったり転院したり、dots を卒業した方々の顔まであって、毎日、懐かしくて嬉しくてしかたがありません。患者さん、関係者や同僚の皆さんに、こどものことまで優しい言葉をいただき、ありがたく思っています。

診療所のあたたかい雰囲気はかわってなくて、ほっとしています。どうぞよろしくお願ひ致します。
(鳥潟 恭子)



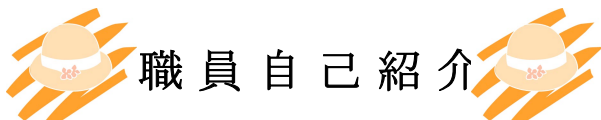
昨年元気な男の子を出産し、この4月から復帰する運びとなりました。長い間育児休暇を頂き、スタッフの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。妊娠・出産と大きな経験をし、またここに帰ってこられたことを本当に嬉しく思っています。

しかし現状としましては自分でもびっくりするほどの浦島太郎状態。仕事をすっかり忘れて以前より足手まといになっている始

末です(涙)。落ち込みもしますが、変わらない患者さんの顔やスタッフのやりとりを見たりすると、なんだかやっぱり、ホッとしてしまいます。

子供を育てながらの勤務ということで、これからが本番と思い、気を引き締めて頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(松本 愛)



職員自己紹介

皆さん、こんにちは。昨年12月より心理検査を担当しております、栄藤典子(えとうのりこ)と申します。ママになった石倉さんのバトンタッチして、この診療所にくることになりました。

ここに来る以前は、婦人保護施設の女性ばかりの職場で働いておりました。そこでは『氷川きよし命!』のおばちゃんがたくさんいらっしゃり、そのおかげで氷川きよしの歌はすべて歌うことができるようになりました。何となくつられてファンになってしま

いそうな自分がこわいです…(笑)

この診療所に来て一番驚いたのは、先生や看護師さん、デイケアの方、またスタッフの方々がたいへん陽気だということです。おやじギャグ、おばさん、お兄さん、お姉さんギャグ、何でもありきで、おおーっ!!と思いました。でも皆さんが一つの家族のような温かい関係で、とても居心地がよく過ごさせてもらっています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(栄藤 典子)

診療所日誌

'09年11月~'10年5月

11 月 入院が相次ぎ、診療所は静けさを取り戻しています

11 月 6 日 飲酒、失禁、部屋で大騒ぎとこの間一世風靡していたMさん、入院となる
 11 月 13 日 デイケア、日帰り温泉旅行としながわ水族館
 11 月 18 日 釜ヶ崎の診療所に勤務されていた、矢島祥子さんの訃報が届く
 11 月 14 日~15 日 職員旅行
 11 月 27 日 便秘だ〜、なんとかしろ〜、外に振りまいてやる〜、と叫んでいたIさん、結局、尿閉でした、ごめんなさい。

12 月 スリッパ者多数 毎年 12 月が多いですね

12 月 4 日 田中医師、金曜午前も診療開始
 12 月 10 日 てんぷら記念日
 12 月 11 日 臨床心理士栄藤さん、初出勤
 12 月 15 日 稲子へ大根掘りに。70 本の収穫、作業所、アルクなどへおすそ分け
 12 月 18 日 忘年会。たくさん参加ありがとうございました
 12 月 24 日 デイケア、クリスマス会
 12 月 28 日 『寿町ドヤ街』第 6 号刊行
 12 月 31 日 デイケア、紅白を見て、年越しそばを食べる

1 月 お酒騒ぎはまだまだ続く

1 月 5 日 仕事始め。年末年始は抗酒剤DOTSチーム羽根を伸ばしていたのか、受診せず。
 喀痰培養 8 週目+と元入院先から連絡あり。内科へ紹介。
 1 月 6 日 薬の売買の話が発覚。ハルシオン、ベグタミンAの処方中止のチラシを配り始める。
 1 月 8 日 デイケアの部屋模様替え
 1 月 19 日 デイケア、Hさん急逝
 1 月 20 日 デイケア、ろばの家と合同でもちつき
 1 月 26 日 患者Mさん、認知症で緊急枠での入院へ向かうが、シラミが発見され入院にならず。クリーンセンターに依頼し、退治してもらい、次の日入院
 1 月 29 日 高齢支援担当の依頼で、駐車場の車の中に住んでいる、アルコール依存症の方の往診。

2 月 睡眠薬の処方を厳しくする

2 月 2 日 睡眠薬の処方の変更始まるが、大きな混乱はなし
 2 月 3 日 がんで手術後 1 週間で退院の方、食事もとれず、元主治医と相談の上入院元へ戻す。
 2 月 12 日 済生会の組織として寿町の支援をしたいと見学にみえる。
 2 月 23 日 S 病院を強制退院になった方が担当CWと共に受診。せん妄をおこしており、ソフト救急をあたるが受

け入れられず。入院元から情報ももらえず、無念。
 2 月 27 日~3 月 1 日 診療室のエアコン工事

3 月 診察終了後、勉強会始めています

3 月 4 日 「稲子の会」(??) できる
 3 月 5 日 介護保険の再申請のため往診。受診拒否なのだが、帰り際に“ざまあみろ”と言われる。
 3 月 9 日 抗酒剤 DOTS に来ない人の訪問。皆さん自室で飲酒中。がっかり。
 3 月 11 日 田中医師の古い友人のSさん、ドヤで失禁状態で発見される
 3 月 16 日 第 8 回てんぷら記念日
 3 月 23 日 デイケア N さん、入院先より脱院。帰らないと駄々をこねる。翌々日入院。
 3 月 30 日 他患に暴力をふるったとかでHさん、強制退院となる。治療は当院で出来るといわれるが・・・、ここは診療所です

4 月 デイケアメンバーさん募集中。なかなか定着せず

4 月 1 日 診療報酬改定、受付は大わらわ
 4 月 6 日 還暦祝いに赤いちゃんちゃんこを着てもらい、写真撮影し渡す。残念ながら、次の日拘留されてしまった。
 4 月 7 日 デイケア、森林公園に花見。雨に打たれてしまいました
 4 月 17 日 整形外科三橋医師、今月から月 1 回診療になる
 4 月 21 日 脱水で家にいる N さん、訪問するが“帰れ〜”“電気消せ〜”と元気
 4 月 22 日 精神病院 30 年入院していた人、弟さんを頼って、寿町へ退院。
 4 月 28 日 結核健診が役所経由でなく、共同診療所で直接レントゲン撮影できることになる

5 月 ようやく春がやってきました

5 月 8 日 デイケアKさん、パーカーの紐をライターで切ろうと思ったのか、火をつけ火柱が。慌てて消し、無傷。
 5 月 11 日 寿町診療所 30 周年、佐伯先生就任 30 周年記念公演開かれる
 5 月 13 日 患者数 247 名、朝からバタバタでした
 5 月 14 日 デイケア、野島に潮干狩りへ
 救護施設に入所していたYさん、酒を飲みたくなつたと脱走、退所となる
 5 月 18 日 臨床検査技師佐藤さん、月 1 回エコー開始
 5 月 20 日 ショック状態の患者さん、診療所で始めて心臓マッサージや蘇生を行う
 5 月 21 日~22 日 デイケア、稲子に田植えへ
 5 月 25 日 臨床検査技師長崎さん、月 1 回エコー開始
 (矢島 雅子)

医療法人 ことぶき共同診療所・鍼灸院ガイド

◇診療科目 精神科 神経科 心療内科
内科 整形外科 鍼灸

診療所

	9時30分	12時	14時	17時30分
月	休 診			
火	鈴木伸・菊田・宮崎		鈴木伸・菊田・宮崎	精神科・神経科・内科
水	菊田・土屋		菊田・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科
木	鈴木伸・大脇・土屋	屋 休 み	鈴木伸・大脇・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科 整形外科
金	田中・鈴木伸・土屋		田中・土屋	精神科・神経科・心療内科・内科
土	鈴木伸・土屋・三橋	整形外科・精神科・神経科・心療内科・内科		

鈴木美奈子(エコー検査)隔週木曜午前

三橋(整形外科)月1回土曜午前

鍼灸院

(鍼灸院は予約制のため、お電話等で確認の上、ご来院ください)

	9時45分	13時	14時	18時
火	新 井		新 井	
水	新井・富永	屋 休 み	新井・富永	
木	新井・佐藤		新井・佐藤	
金	新井・佐藤		新井・佐藤	

○保険扱い

国民健康保険 各種社会保険 生活保護 障害者自立支援法(その他、医療福祉相談も受け付けています)

○心理判定(月2回)

○寿町関係資料室

寿町にまつわる資料収集、調査研究を行う「資料室」を併設しています。

◇共同診療所・鍼灸院の所在地

〒231-0025 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 1・2F

◇でんわとファックス

(045) 651-2305 (診療所)

(045) 305-4322 (鍼灸院)

◇e-mail info@kyoudouclinic.com

◇ホームページ

<http://kyoudouclinic.com>

2010年6月10日現在